



理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、親・地域の多様な子育ての要求を受け止め、
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべての
ものの生命を大切に、平和な社会をめざす保育園

めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し
実現しようとする子ども
- 3、自分を大切に、仲間を大切にする子ども

保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、子どもの全面発達を保障する
- 2、保護者と子育てを共同する
- 3、保育園の社会的役割を果たす

忘れもの

入道雲にのって

夏休みはいつってしまった

「サヨナラ」のかわりに

素晴らしい夕立をふりまいて

けさ 空はまっさお

木々の葉の一枚一枚が

あたらしい光とあいさつをかわしている

だがキミ！ 夏休みよ

もう一度 もどってこないかな

忘れものをとりにさ

迷い子のセミ

さびしそうな麦わら帽子

それから ぼくの耳に

くっついて離れない波の音

子どもといっしょに読みたい詩 著



高田 敏子

暑さが和らぎ、セミの鳴き声から、秋の虫たちの鳴き声に変わり、夏の終わりをを感じるこの頃です。

子ども達は夏の疲れか、体調を崩している子がでています。連絡を密にして子どもの健康状態を伝え合うことが大切だと考えています。

8月24日にさいたま市にある保育園で、4歳の女兒がプールで死亡したという報道がありました。職員が滑り台の片づけをしていて、園児から目を離したことに問題があったようです。一瞬の時間だったのかと思うと、心が痛み、身の引き締まる事件でした。最近、プールでの事故は、たびたび報道されていて、厚労省が平成28年3月に事故防止のための取り組みとしてガイドラインができました。園ではそれをもとにして、監視する人と、プール指導する人の役割分担をして、園全体でプール遊びに臨みました。「命あってこそ」そのことを考えると、仕事の責任の重さを感じた事件でした。

8月のある日、保育園へ出勤の際、アブラゼミを捕まえたので、子ども達に見せたら喜ぶのではないかと思います、手に持ったまま幼児クラスに入りました。その日は5歳児がお休みしていて、3、4歳の子ども達が集まってきました。怖がっていた3人の子に、触っても怖くないことを伝え、最初は恐る恐る触っていましたが、段々と安心したのか、最後には手にもつこともできるようになりました。今回の経験から虫や自然に興味を持つことにつながればと思いました。

園長 岡本 友子

9月の予定

8月	6日(水)	引き取り訓練	
	12日(火)	げんき出前型学習会	16:30～支援室にて
	14日(木)	健康診断	
	19日(火)	体験保育(わらべうた)	
	20日(水)	キンモクセイの会(幼児)(5歳児の祖父母を招待)	
	21日(木)	身体測定	
	28日(木)	健康診断	

